

マネジメントデザイン論 I アンケート⑧140530 <質問・感想など> 1

図を書けるようになることと、文章を書くことに関係があるということに、納得した。

図解されたものを文章に戻す。この力を身につけて、ぜひ活用したい。

図解から文章は、書き始めたらスラスラ描けたので驚いた。書きもれることもなくスッキリとまとめることができた。図解から文章を書く方法をマスターできるようにしていきたい。

文章化するのには得意のようです。

図解によって文章を書くのが簡単になってきたと感じた。図解文章法に慣れたい。図解で内容を把握し、文章で表現する。これでプレゼンテーションができることに、やる気が出た。

図解から文章を書いてみて、様々な考えが浮かんできた。図と文章は互いに相反するものかと思っただ、互いに補填し合う関係だと気づいた。

文章→図解、図解→文章を、できるようにしたい。文章＝内容×表現

今日は文章だったので新鮮だった。自分の人間関係について書いたら、改めて恵まれていると思った。

練習をしっかりと積みたいと思う。

文章＝内容×表現

スラスラ書けた。図解と文章は密接に関係していることを改めて知った。

自分の人生設計に不安であったが、図解を通じてそれを自分で確かめることができると感じた。文章を図解から展開していくことが、新鮮だった。

自分は他の人と比べてレポートを書くのがものすごく遅いので困っていた。今日学んだことをしっかり理解できれば、文章も簡単に書けると思うので、頑張りたい。

コンビニの図は分かりやすく、大変参考になった。まずは、思いつくまま、次に大きな視点からざっくり書き、最後に細かいところを仕上げていく。

今日はもう少し時間が欲しかった。

知的生産とは、「読む、考える、書く」ことで、新しい情報を生産すること。梅棹忠夫さんの「知的生産の技術」で図解にまとめると分かり易い。

文章にして考えると考えやすい。図解にする前は文章で書こうと思う。

工夫ひとつですごく見やすく分かりやすい図解になっていた。図解文章法は小論文を書く時に使用したい。

両方の変換をやっていれば、様々な場面で活用できるので大変ためになった。

DVDの例を出しながらの解説が分かりやすかった。文章も図解もどんどん練習していきたい。

図解を書いてから文章にするのがとても簡単で良かった。レポートにも使えるので、取り組んでいきたい。

図解することで文章がすらすら書くことが出来た。

図解から文章は、想像力が必要。

自分が幸せになるために考えるものだったのでとてもやりやすかった。考えていることを洗い出して、図につなげていくのが、書きやすくなる方法なのだとということが分かった。

今回も実践的なトレーニングを行い、日に日に成長していくのが実感できた。

レポートに役立てたい。

もっとこの授業で文を書くことについて学びたい。

最初の一文を書き出すと、普段文章を書くよりも書きやすかった。

図解をマスターすると、どの様な仕事に就けますか？また、どのような場面で便利に使えますか？

図解文章法の能力を上げることは非常に重要だと思った。

プレゼンテーションで活用できるのではないかと考えた。

DVDのコンビニのような図解を書けるようになりたい。自分の思いや体験を混ぜて文にすることでスラスラ書けました。文を書くのも上達させたいので、新しい勉強法を見つけられたと思いました。

図解文章法はいつもと違い、少し難しく感じた。また練習したい。

私は文章を書くのが苦手なので、頑張っって身につけたい。

毎回の講義で図解に対してパワーアップしているような気がする。

図解文章法のスキルを修得できれば、レポートを書くことも楽なので、頑張りたい。

授業が楽しい。毎回気づかされることが多い。

映像もからめた授業で、とても分かり易かった。

DVDの分かりやすい説明で、図解の構成について改めて理解が深まった。

難しく感じたが、図解文章法はレポート作成能力には必要であると思う。

DVDを観て、図解をどういう手順で作れば良いのか、どんな構成にすればよいのかが分かった。

DVDの久恒先生が良かった。自分の幸福を考えたことがなかったなので、自分を見つめる良いきっかけになった。

「文章が書けないから図解が書けないのではなく、図解が書けないから文章が書けない」という考えに共感した。

マネジメントデザイン論 I アンケート⑧140530 <質問・感想など> 2

とても書きやすく、段落分けしやすかった。すいすい書けました。

教授が言っていたように「～である」より「～です」の方が言葉がスラスラと出てきました。

経験や意味なども加えることで、違った文章になると思った。

図解から文章を、書きやすかった。

図解を文章にまとめるという前回とは逆のことをした。私には論文のように題材を出されてそれについて書いているようだった。

自分の体験話を入れることにより、説得力や話に膨らみが出ました。

ですます調で書く文章は、である調で書く文章よりも書きやすく、分量がはるかに多くなった。

言いたいことを明確にさせ、図にまとめることで難しい文章も接続詞に気を付けることで簡単になる。人に図を見せるつもりでやること。レポートに活かせると思いました。

図解によって何を書くのか骨格を組み立てることによって内容が頭のなかで見通せる感覚があった。

たしかに、図解文章法ができれば、レポートなどが楽に出来ると思った。

図解ができれば文章が上手になるというのは、確かにと思った。

図解文章法は、図を書くのとは逆で、少し難しい所があった。図を文にすることによって、より深みのある文章を書くことができた。

接続の言葉がもっとも大事だと思いました。先生は講義の中で図解を教えながら人間に大切な言葉や伝える大切さを教えていると思いました。

図解を文章にするのは、図解を書くより難しいと感じたが、意外と書くことが出来た。

結構難しかった。しかし、力がついていることが(初回より)実感できた。図解ができるようになると、論文やプレゼンがスムーズにできるようになると感じています。幸福論というのは人それぞれ論理があるので、今回は楽しめて行えた。図解を書くのは面白い。

どうしたら幸福になれるかの図解はすごく分かりやすいと思いました。目標・趣味で分け、さらにテーマや目的で分ける事で、もっと細かく図解にあらわす事ができて非常にすばらしいと思います。

図解で最近、色々なことを行ってます。迷ったら、図解を使い、うまく活用できるようになりました。

図を文章に直すという今までとは真逆の作業をしたが、このやり方はすごくやりやすいと思った。

幸せになるためには何をすれば良いのか、考える機会があってとても良かった。

図解を通して文章を書く力を身につけ応用できれば、プレゼンテーションの力を身につけることにつながると知って、今回の講義が私にとって大切なものだと再認識することができました。

今回の講義でDVDを観た。色々参考になった。

文章から図を作るより、図から文章を作る方が楽かもしれない。

最初に書いた文は抽象的でした。アドバイスを貰いもっと具体化して書いていくと、最初に書いた時よりスラスラと書けるようになり、より詳しい文章になりました。文章と図の関係性がなんとなくわかったような気がします。

文章化することによって説得力が身に付きました。抽象的になってしまったものに例を付け加えるとスラスラ書けました。内容が大きく膨らみました。

図解の大きいくりから小さいくりに掘り下げていく文章の書き方は、とても書きやすかった。

図解していてすごく楽しい。

図解は個人の見方が見えてくる為、同じテーマでも人それぞれの図になる。あまり懲りすぎても分かりにくくなる。今後は、キーワードをまとめ、細分化して相手に伝えたいことを明確にする事が重要だと思う。小論文を書く前に図解で表してから書いてみたいと思った。今後練習し、プレゼンや小論文に活かしていきたい。